

「第1回 全国川サミット宣言」宣言文

川は豊かな自然を育み、心をなごませる潤いのある水辺空間を創り出し、流域の人々の生活に必要不可欠な水を提供するとともに、人々の日々の生活の場として、舟運・漁業の場として、ときには祭りや遊びの場として利用されてきた。一方、川はひとたび洪水が起ると家屋の浸水、田畑の冠水等人々に多大の被害をもたらしてきた。このように川は人々に恩恵と苦渋の両面を与えてきたが、その流域に暮らす人々の生活の根源となり、流域の自然や人々の暮らしと一体となって、その流域の歴史・文化・風土の形成に大きな役割を果たしてきた。

ここに会した1級河川を名にする全国15の市町村は、このような川との結びつきが特に大きなところであり、21世紀に向けた個性豊かな活力ある地域の発展のためには、地域のシンボルとなっている川と一体となった地域づくりを積極的に進めていくことが重要と認識したところである。

そのためには、今後とも15市町村が一堂に集まり交流を深めることにより、川とよりよい共生を図った地域発展のあり方について、お互いの認識を深めるとともに、この成果を全国に向けてPRすることにより国民の川に対する理解を深め、川を活用した個性豊かな地域づくりに貢献することを、ここに宣言する。

平成4年8月8日

第1回全国川サミットin庄川町参加者一同

代表 富山県庄川町長 村 井 武 一